

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策5 政策推進システムの充実
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	統計調査課長	松田 和穂	電話番号	0852-22-5075
----------	--------	-------	------	--------------

事務事業の名称	県単独・統計調査等事業	
目的	(1) 対象	県、市町村、県民
	(2) 意図	県独自の調査結果等をまとめたものを、報告書や統計情報データベースで提供し、活用してもらう。
事業概要	各種統計調査の結果をホームページ（しまね統計情報データベース）に掲載し、わかりやすい情報提供及びだれでもがデータを活用しやすい環境を整え、利用の促進を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	統計資料利用件数	目標値		300,000.0	300,000.0	300,000.0	件
	式・定義	統計情報データベースアクセス件数	取組目標値					
				実績値	315,855.0	314,924.0		
			達成率	-	105.0	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
				実績値				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	4,104	6,510
うち一般財源 (千円)	4,104	6,510

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度、平成28年度と2年連続で、目標を超えるアクセス数があった。
データの更新とそれに関する更新情報を周知する工夫や、利用者がデータを探しやすい環境となるような工夫が必要。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

2年連続で、目標値を超えるアクセス件数があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
電話での照会の際に、欲しいデータが見つげにくいというケースがある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
データ利用しようとする側のニーズが多様であり、全てに対応することが難しい。
- ③原因を解消するための「課題」
データの格納場所や検索方法がわかりやすくなるよう点検し、ガイドの見直しを適宜行う。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

利用者の立場に立ち、わかりやすい情報提供、利用しやすい環境設定に努める。